

四極会寄附講義「会社研究」令和4年度 第6回目

令和4年5月25日(水) 13時10分

講師 竹田市長 土居 昌弘 氏(大学42回、院25回)

テーマ「いのちを守り、いのちを育み、そしていのちを輝かせる」

竹田市づくり

冒頭に人生における様々なきっかけを話され、続いて、竹田市政のこと、学生諸君に求めたいことなどを話されました。

学生時代に国内外でバックパッカーをして、それが、きっかけで、価値観が変わった。

それぞれの地域で暮らすいろいろな人とのかかわりあい、触れ合いを体験することにより、独りよがりではいけない、物事には、一つの方向だけでなく、いろいろな見方や考え方があるということを実感した。

また、実家の燃料会社を継ぐため、竹田市に戻って様々な活動をしていたころ、脳腫瘍ができたため、入院し摘出手術をしたが、このとき自分の命をどう使うか真剣に考え、人のために一所懸命頑張ろうと思い、これが、政治家を志すきっかけとなった。



市議会議員と県議会議員を経たのち、竹田市政を預かる身となったが、10年後のあるべき姿に向かって、これまでなかった「竹田市総合計画」の策定に着手した。

少子高齢化と過疎化の現状を踏まえ、「あらがう政策」と「あわせていく政策」の2本柱で市政を運営していくこととしている。

「キャリアアップのドアにはドアノブはない。」

私のこれまでの経験からして、それぞれの場所で一所懸命に働けば自然とドアは開いていくと考えている。

このことを念頭に、市民の方をしっかりと見て「いのちを守り、いのちを育み、そしていのちを輝かせる」市政をめざしていきたい。

学生時代に力を蓄えてほしいことは、「柔軟性」と「突破力」である。

自分の物差しを絶対視しないで相手の立場に寄り添い、対話しながら新しいものをつくり上げていく「柔軟性」と物事が決まればそれを推進していく「突破力」を学生諸君に求めたい。

以上